

平成 23 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 24 年 7 月

農林水産部 水産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5 頁
11	不納欠損額調べ	5 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	15 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	15 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	16 頁
18-2	船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況	16 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	16 頁
20	備品の処分状況調べ	16 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	16 頁
22	事業別予算執行状況調べ	16 頁
23	生産物（品）に関する調べ	17 頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	17 頁
25	船舶運航調べ	18 頁
26	用船の状況調べ	19 頁
○	意見、要望等	19 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
水産試験場	管理担当	人事管理、予算・決算事務
	漁場開発室	海洋環境、漁労及び水産資源等についての試験研究及び調査に関すること。
	海洋資源室	〃
	試験船第一鳥取丸	〃

4 職員の定員、現員調べ

（平成24年4月1日現在）

種 別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在	
定 員	1	1	17	17	0	0	18	18	
現 員	() 1	() 1	() 17	() 17	() 0	() 0	() 18	() 18	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	1	0	
非常勤職員	1	1	2	2	1	1	4	4	事務 1名、運転士 1名 調査・研究補助 2名

5 役付職員の調べ

（平成24年7月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
場 長	下山 俊一		3	
主 幹	大東 道雄		3	出納員
漁場開発室長	石原 幸雄	1	3	勤務期間：6年3月
海洋開発室長	山田 英明		3	
船長（第一鳥取丸）	森脇 誠	1	3	
機関長（第一鳥取丸）	古田 栄	4	3	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>燃油高騰対策支援調査</p> <p>決算額 38,205千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 18,955千円 一般財源 19,250千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者は漁場に行くまで漁場の潮流状況がわからない。出漁し、漁場に到着しても潮流が速く操業できないことが多々あり、燃油高騰によりこの無駄な操業が経営を圧迫している。陸にいながら沖合の潮流状況がリアルタイムに分かる潮流観測ブイを設置し、潮流情報を漁業者に提供することで、無駄な出漁が削減され、漁家経営の安定が図られるとともに二酸化炭素排出など地球環境に配慮した漁業が推進される。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸潮流観測ブイ設置 (2箇所) 酒津 (鳥取市) 沖 距岸約5.8km、水深約50m 平成23年8月26日設置 御崎 (大山町) 沖 距岸約5.5km、水深約50m 平成23年9月14日設置 ・ 潮流情報自動提供システムの運用開始 平成23年11月～ <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸潮流観測ブイについては、山陰の冬期風浪にも対応する構造 (シケの時に水中に沈む) とした。また、設置及び清掃については、漁業者の技術協力を得て行った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者からは、沿岸潮流観測ブイの情報により無駄な出漁が無くなり、経費及び時間の節減が図られたため、操業に無くてはならないものであると多くの声が寄せられている。 ・ 潮流情報自動提供システム (電話、メール、ファクシミリサービス) の漁業者の利用登録者数は現在約300件、多い日には約170件の電話応答サービスの利用がある。 ・ 漁業者の中には、ブイの維持管理について積極的に協力や実施する者も現れている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸潮流観測ブイの維持管理については、平成25年1月から漁業者が行うこととしており、維持管理方法及び費用負担等について、漁業者協議会で協議を行いスムーズな移管を行うように進める必要がある。
<p>底魚資源変動調査</p> <p>決算額 46,136千円 (420)</p> <p>※ () 内は当該試験に係る額</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 20,191千円 一般財源 25,945千円</p>	<p>底魚資源変動調査のうちズワイガニ資源回復のための投棄ガニの実態把握と混獲回避漁具試験について</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖合底びき網漁業の最重要魚種であるズワイガニの漁獲量および金額の減少が予想されるため資源回復のための緊急的な措置が必要である。ズワイガニは禁漁期中の4～5月、9～10月にもカレイやハタハタと共に混獲されているが、その量については不明である。また、混獲投棄を回避するため、これまでに水産試験場が開発したズワイガニの混獲回避漁具を早急に導入すべきと判断した。しかしながら、長期間の混獲回避漁具を使用した実操業は行われていないため、漁業者は導入を見合わせている。そこで、混獲投棄量の把握調査を行うとともに、水産総

事業名	概要
<p>政策項目</p> <p>3 自然の豊かな恵みと生活を守る</p> <p>(1) 豊かな自然・環境を守り、育て、次代につなげる</p>	<p>合研究センターの用船事業により鳥取県沖底船で実証試験を行うよう依頼し、網代船1隻を用船して調査した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月より鳥取県籍船28隻中13隻を選定し、ズワイガニの混獲投棄量を報告するよう依頼した。 ・ 4～5月、9～10月に網代船1隻を用船し混獲回避漁具試験を行った。 <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発センターによる長期間の用船調査を実施した。 ・ 混獲回避漁具を導入した場合の資源保護効果を試算した。 ・ 混獲回避漁具を普及させるため漁業者説明会を開催した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改良された漁具を使用することによって、カレイやハタハタを漁獲する9～10月、4～5月に混獲されるズワイガニを73%海中で網から排出させられることが明らかとなった。 ・ 仮に2011年9月から改良網を導入した場合、ズワイガニは海中で73%排出されるので、1隻あたり松葉ガニは3,277、若松葉は18,600個体保護できると推定された。 ・ 海中で排出されたカニは資源として温存され、そのうち解禁後に20%漁獲される(資源量に対する漁獲割合)。取り残された80%の個体は来漁期以降漁獲対象となる。2011年9月に改良網を導入した場合の漁獲量は松葉ガニで約10トン増加、若松葉で約11トン増加すると推定された。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ズワイガニの資源減少に伴い来漁期には漁獲量と金額の減少が予想される。漁業者はズワイガニ減少に対する危機感を感じており保護の重要性は認識している。一方で、混獲回避漁具の使用によりアカガレイの漁獲も減少することに不安があり導入を躊躇している。資源に大きな影響を与える混獲投棄をストップするため、早急に改良網を導入する必要があるため、行政支援策を講ずることを検討すべきである。

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成24年5月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	電柱用地使用料ほか	5	136,745	138,245	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		駐車場使用料	109	406,000	406,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則 公有財産事務取扱要領	
	計(節)		114	542,745	542,745	0	0		
目計			114	542,745	542,745	0	0		
合計			114	542,745	542,745	0	0		

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入

(平成24年5月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産貸付 収入	財産貸付 収入	県有財産貸付料(局 舎用地)	1	92,020	92,020	0	0	地方自治法施行令第169条の 2第3号	
		計(節)		1	92,020	92,020	0	0	
目計			1	92,020	92,020	0	0		
物品売払 収入	物品売払 収入	物品売払収入	1	8,316	8,316	0	0	鳥取県物品事務取扱規則	
		計(節)		1	8,316	8,316	0	0	
目計			1	8,316	8,316	0	0		
合計			2	100,336	100,336	0	0		

(5) 諸収入

(平成24年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
受託事業収入	水産総合研究センター受託事業収入		4	18,178,188	18,178,188	0	0	
		計(節)	4	18,178,188	18,178,188	0	0	
	漁業情報センター受託事業収入		1	253,000	253,000	0	0	
		計(節)	1	253,000	253,000	0	0	
	漁港漁場漁村研究所受託収入事業		1	849,000	849,000	0	0	
		計(節)	1	849,000	849,000	0	0	
目計		6	19,280,188	19,280,188	0	0		
雑入	雑入	広告掲載料	2	24,000	24,000	0	0	
		鳥取県無線漁業協同組合光熱水費	37	494,905	494,905	0	0	
		非常勤職員負担分雇用保険料	101	75,850	75,850			
	計(節)	140	594,755	594,755	0	0		
目計		140	594,755	594,755	0	0		
合計		146	19,874,943	19,874,943	0	0		

(6) 現金の取扱状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金
該当なし

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

(平成24年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	契約年月日 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			契約形態					
					契約年月日 契 約 額	契 約 期 間		契 約 形 態				
水産試験場費	単県	冷暖房設備保 守点検	三和商事(株)	2,661,750	(21.4.1)	21.4.1	21.3.25	23.8.5	精	23.8.5 他	787,500	21~23の債務 負担
					2,362,500	~24.3.31	(免除)	他				
水産試験場費	単県	水産海洋情報 処理システム 保守管理	応用技術(株)	714,000	(23.4.1)	23.4.1	23.3.22	24.3.31	精	24.4.10	714,000	製作者以外 の保守は不可
					714,000	~24.3.31	(免除)					
水産試験場費	単県	人工衛星画像 受信装置保守 管理	日本船用エレ クトロニクス (株)	955,500	(23.4.1)	23.4.1	23.3.23	24.3.31	精	24.4.17	955,500	製作者以外 の保守は不可
					955,500	~24.3.31	(免除)					
水産試験場費	単県	魚類粗脂肪測 定	(財)島根県 環境保健公社	992,250	(23.5.23)	23.5.25	23.5.18	23.11.4	精	23.11.15	740,250	
					740,250	~23.11.4	(免除)					
					()	~	随	23.11.4				

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			契 約 形 態					
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
水産試験場費	単県	LEDいかつり試験操業	鳥取県漁業協同組合境港支所	単価契約 @90,000/1回	単価契約 @90,000/1回	23.9.6 ~ 24.3.31	23.8.30 (免除)	24.3.21	精	23.9.20 他	585,000	
							随	24.3.21				
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」 機関監視装置 保守点検	(株)ジェー・ ール・シ ー・エス	299,250	(23.12.21) 299,250	23.12.21 ~24.3.30	23.12.14 (免除)	24.3.28	精	24.4.6	299,250	製作者以外 の保守は不可
					()	~	随	24.3.28				
水産試験場費	単県	薬品処分業務	アサヒプリテック(株) 神戸営業所	477,645	(23.10.19) 471,870	23.10.19 ~24.3.31	23.9.30 (免除)	24.3.12	精	24.4.3	471,870	新規
							随	24.3.12				
水産試験場費	単県	作業環境測定 業務	(社)鳥取県産 業環境協会	561,750	(23.4.1) 266,490	23.4.1 ~24.3.31	H24.3.23 (免除)	24.3.26	精	24.4.3	266,490	新規
					()	~	随	24.8.16 他				
予定価格が20万 円未満のもの											858,570	
目 計											5,678,430	
合 計											5,678,430	

【H22→H23明許繰越分】 (平成24年5月31日現在)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			契約形態					
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
水産試験場費	国補	潮流情報自動 提供システム 整備業務	マスターラボ 代表 益田 和彦	3,954,742	(23.5.18) 1,770,000	23.4.1 ~23.12.31	H24.3.23 (免除)	23.11.30	精	23.12.9	2,210,069	新規
					(23.7.28) 2,210,069	23.4.1 ~23.12.31	一般	23.12.1				
予定価格が20万 円未満のもの												
目 計											2,210,069	
合 計											2,210,069	

1.3 工事請負費調べ

(平成24年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	工 事 名	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			実地 完成 年月日 検 査 年月日	変 更 (解除) の理由 ・内容	備 考
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契 約 額	工 期			支出 区分	年 月 日	金 額			
			変 更 契 約 (最 終)			契約形態							
			(変更年月日) 設計額	(契約年月日) 契 約 額	工 期								
水産試験場 費	単県	「第一鳥取丸」 通常保守整備工 事	(23.9.13) 47,499,993	(23.10.20) 38,713,500	23.10.20 ~24.1.31	23.10.14 (免除)	サンセイ (株) 下関工場	完	24.3.9	45,772,093	24.1.30	追加工事が発生したため	
			(24.1.27) 54,779,736	(24.1.27) 45,772,093	23.10.20 ~24.1.31	指					24.1.30		
目 計										45,772,093			
合 計										45,772,093			

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成24年5月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産		境港市竹内団地 107	5,025.22	99,499,356	増加	H				H	5,025.22	99,499,356	
					減少	H				H			
計			5,025.22	99,499,356							5,025.22	99,499,356	
普通 財産	(該当なし)				増加	H				H			
					減少	H				H			
計			0	0							0	0	
合計			5,025.22	99,499,356							5,025.22	99,499,356	

イ 建物

(平成24年5月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	庁舎	境港市竹内団地 107	1,395.90	202,152,530	増加	H				H	1,395.90	202,152,530	
					減少	H				H			
	漁具倉庫	境港市竹内団地 107	340.00	19,597,250	増加	H				H	340.00	19,597,250	
					減少	H				H			
	車庫	境港市竹内団地 107	42.00	3,681,288	増加	H				H	42.00	3,681,288	
					減少	H				H			
計			1,777.9	225,431,068							1,777.9	225,431,068	
普通 財産	(該当なし)		0	0	増加	H				H			
					減少	H				H			
計											0	0	
合計			1,777.9	225,431,068							1,777.9	225,431,068	

ウ 山林

該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

（平成24年5月31日現在）

区 分	前年度末		本年度中の増減（△）			差 引	備 考
	取得年月日	数 量	年月日	数 量	取得又は処分価格		
船 舶	H9. 2. 27	(t) 199.00			円	(t) 199.00	沖合漁業部 第一鳥取丸
合 計							

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア） 異動状況

（平成24年5月31日現在）

区 分	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
特許権	件 1	件 0	件 0	件 1	
合 計	1	0	0	1	

（イ） 出願及び登録の状況

区 分	名 称		出願日	登録日	活用の有無
特許権	選別機能付き曳き網		H15. 3. 31	H19. 3. 9	無
出願中	0件	登 録	1件		

（ウ） 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

（2）金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

（平成24年5月31日現在）

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 26,620	円 60,000	円 54,670	円 31,950	
収入印紙	0	12,650	12,650	0	
合 計	26,620	72,650	67,320	31,950	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権

(平成24年5月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				差引		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
(行政財産使用料)	円 391,659	3	円 0	0	円 135,873	0	円 255,786	3	
鉄塔用地使用料	346,239	1	0	0	115,413	0	230,826	1	
電柱用地使用料	13,500	1	0	0	4,500	0	9,000	1	
庁舎屋上使用料	31,920	1	0	0	15,960	0	15,960	1	
(財産貸付収入)	736,160	1	0	0	92,020	0	644,140	1	
局舎用地貸付料	736,160	1	0	0	92,020	0	644,140	1	
合 計	1,127,819	4	0	0	227,893	0	899,926	4	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成24年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	事務所用地	境港市竹内団地107	107.00 ㎡	H21.4.1	H元.9.11	H21.4.1 ~ H31.3.31	月額・年額 92,020	92,020	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合 代表理事組合長 景山 一夫	
	鉄塔用地	〃	93.00 ㎡	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ~ H26.3.31	月額・年額 115,413	115,413	〃	
	電柱設置用地	〃	本柱1本 支線2条	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ~ H26.3.31	月額・年額 4,500	4,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店 鳥取支店長 松本 俊久	
	監視カメラ電源用地	〃	1.058 ㎡	H23.4.1	H16.11.1	H23.4.1 ~ H24.3.31	月額・年額 872	872	神戸市中央区新港町12-1 神戸税関長 山本 浩	
計								212,805		
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0		
計								0		
合計								212,805		

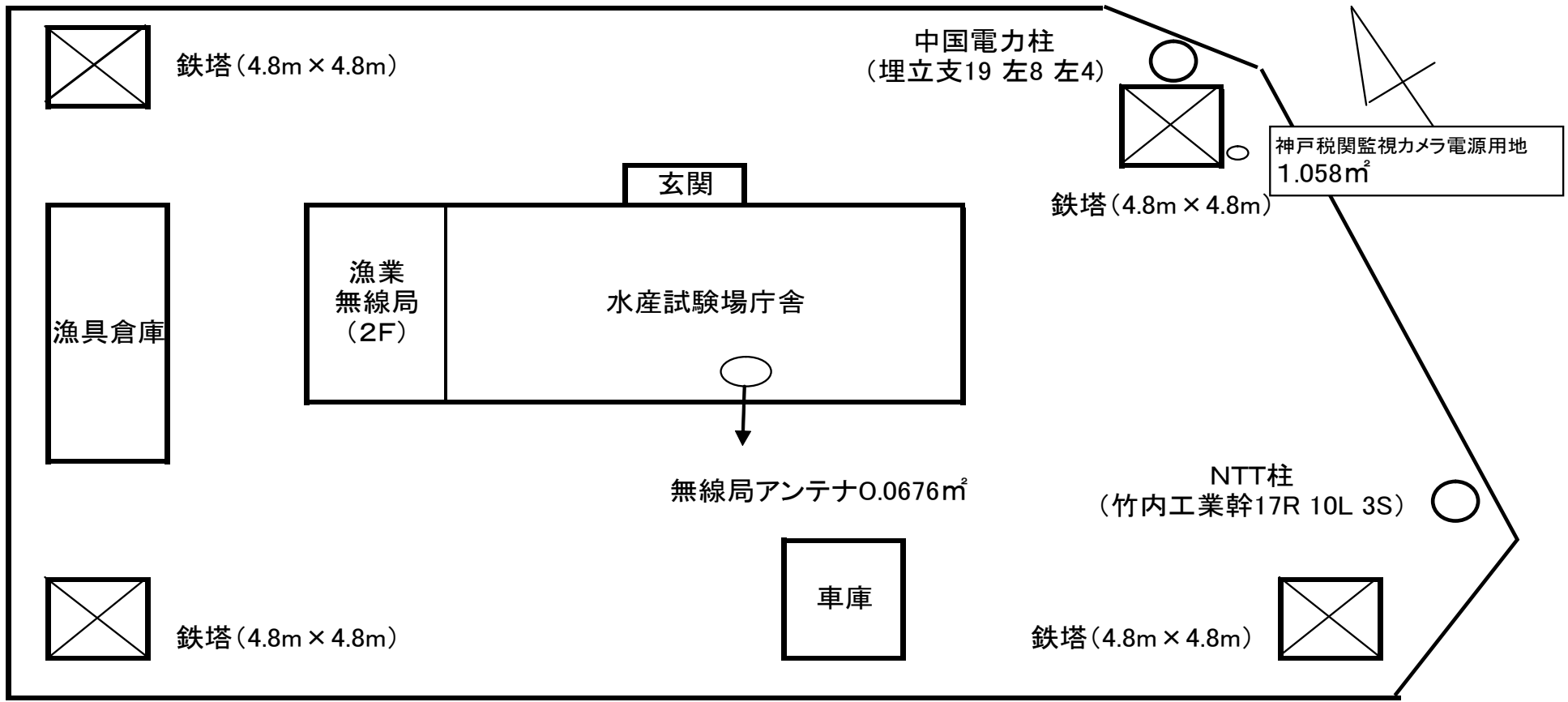
イ 建 物

(平成24年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所 氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	アンテナ設置	境港市竹内団地 107	0.0676 m ²	H20.3.31	H20.2.12	H20.4.1 ~ H25.3.31	月額・年額 15,960	15,960	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合	
計								15,960		
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0		
計								0		
合計								15,960		

水産試験場沖合漁業部周辺図

(臨港道路)竹内埠頭背後線



(2) 物品
該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	境港市竹内団地107	12.50	1,000
普通財産	(該当なし)		

イ 異動状況

(行政財産)

月別	前月末	当月減減		当月増増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免					
4月	38人	0人	0人	1人	0人	38人	0人	34,000円	/	/
5月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
6月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
7月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
8月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
9月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
10月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
11月	38	0	0	0	0	39	0	34,000		
12月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
1月	37	1	0	0	0	37	0	33,000		
2月	37	0	0	0	0	37	0	33,000		
3月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
合計								406,000	406,000円	0円

※鳥取県無線漁業協同組合の職員使用分(使用者7名、使用区画数3区画)については、4月に12ヶ月分を一括調定しており、全額が収納済。

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ
該当なし

18-2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況 (平成24年5月31日現在)

船名	トン数	取得年月日	稼働日数	燃料		修繕費等	左の主な内容	定係港又は船籍港	占用料
				消費量	金額				
				ℓ	円	円	円	円	円
第一鳥取丸	199.00	H9.2.27	109	160,000	13,574,925	2,364,245	トランシーバシステム基盤交換	境港	免除
計				151,904	10,192,286	2,364,245	840,000		

19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

20 備品の処分状況調べ
該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成24年5月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
公用車（小型乗用公用車：リース車）のリヤバン部分	1	58,375 円	使用者：水産技師 増谷龍一郎	損傷 H23.7.10 午前10時頃	水産試験場車庫内	業務終了後の入庫時にハンドル操作ミスにより車庫内キャビネットに当たったもの	H23.7.15	—
合計	1	58,375						

22 事業別予算執行状況調べ
一般会計：現年

目名	水産試験場費	(平成24年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
燃油高騰対策支援調査	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	
海洋環境変動調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	
浮魚資源変動調査	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	
底魚資源変動調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	
海の美味しさ発見調査事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	
水産情報発信事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載	

2.3 生産物（品）に関する調べ

（平成24年5月31日現在）

生産 部門	品名 種類	生産 計画 数量	生産数量			場内 使用	処分数量						分 類 換	差 引 残	備考	
			前年度 からの繰 越	生産 購入	計		売却		目的外使用		廃 棄	計				
							数量	金額	数量	金額		数量				金額
水産試 験場	ハタハタ	0	0	15.0	15.0	15.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スルメイカ	0	0	50.0	50.0	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	65.0	65.0	65.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

（平成24年5月31日現在）

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
燃油高騰 対策支援 調査	23年度(繰越) 円 (40,384,000) 38,205,119	漁場開発室	(補助) ・沿岸潮流観測ブイ（鳥取市、大山町沖）設置及び潮流情報自動提供システムの整備	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
海洋環境 変動調査	18年度～ 円 (9,294,000) 8,255,609	漁場開発室	(委、単) ・海洋環境（水温等）の動向をを把握し、漁業者へ迅速な情報提供を行う。 ・大型クラゲの来遊状況調査及び情報提供を行い、漁業被害を防止する。	(成果) 毎月、海洋観測を実施し、海況情報の提供及び予測を行った。 (課題) 観測データの多彩な解析による情報発信や有効活用。
浮魚資源 変動調査	20年度～ 円 (12,714,000) 11,951,625	漁場開発室	(委、単) ・浮魚（アジ、サバ、イワシ類、クロマグロ、イカ類）の資源状況を把握し、資源管理を推進するための管理方策検討の資料とする。 ・LED船上灯を用いたイカ釣技術の開発。春、秋のイカ漁場調査。	(成果) 資源が減少していたマイワシについて、漁獲量の増加等から、資源の回復傾向が見られた。また、ケンサキイカのLED船上灯では、漁獲について一定の効果が見られた。 (課題) 資源回復が見込まれるマイワシの加入状況の把握方法の確立（仔稚魚調査）。
底魚資源 変動調査	20年度～ 円 (15,966,000) 14,956,426	海洋資源室	(補助、委、単) ・底魚（ハタハタ、カレイ類、ズワイガニ、ベニズワイ）の資源状況を把握し、資源管理を推進するための管理方策検討の資料とする。 ・ズワイガニの資源管理のための投棄ガニ（小型、漁期外）の把握。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
続・海の 美味しさ 発見調査 事業	20～23年度 円 (1,529,000) 1,098,331	漁場開発室	(単) ・アカガレイの脂ののりの月別変動調査（ブランド化を目指した優位性調査）、ハンディタイプ脂質測定器のソフト開発。	(成果) 年間を通して脂ののりが1～6%と低く変動幅が小さい。特徴的な優位性は見いだせなかった。 (課題) ブランド化された網代ガレイ（子持ちの大型のアカガレイ）のPR方法の検討。

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
水産情報 発信事業	13年度～ 円 (3,331,000) 3,078,049	漁場開発室	(単) ・漁海況情報(漁模様、水温等)及び試験操業・調査結果をわかりやすく提供する。	(成果) 大型ポスター(月1回)・海洋環境水産資源レポートの発行、漁海況連絡会議等の開催、イカ水揚情報の電話応答案内、沿岸潮流観測ブイの観測データ公開。 (課題) 迅速な情報提供、印刷コストの縮減。

25 船舶運航調べ

(平成24年5月31日現在)

第一鳥取丸

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
海洋環境変動調査	第1区	H23.4.5～H23.4.7	3	延人 2	延人 10	延人 0	
		H23.5.9～H23.5.11	3	1	10	0	
		H23.5.31～H23.6.3	4	1	10	0	
		H23.6.27～H23.7.2	6	1	9	0	
		H23.7.25～H23.7.27	3	0	10	0	
		H23.9.6～H23.9.8	3	0	10	0	
		H23.9.26～H23.9.27	2	1	10	0	
		H23.10.31～H23.11.2	3	1	10	0	
		H23.11.28～H23.11.29	2	0	10	0	
		H24.2.5～H24.2.6	2	1	9	0	
		H24.2.28～H24.3.1	3	1	9	0	
		小計	34	9	107	0	
浮魚資源変動調査	第1区	H23.4.12～H23.4.15	4	1	10	0	
		H23.4.21～H23.4.22	2	1	9	0	
		H23.5.16～H23.5.20	5	2	10	0	
		H23.5.23～H23.5.26	4	1	10	1	
		H23.7.11～H23.7.15	5	1	9	0	
		H24.3.7～H24.3.9	3	1	9	0	
小計	23	7	57	1			
底魚資源変動調査	第1区	H23.6.14～H23.6.17	4	2	9	0	
		H23.6.20～H23.6.22	3	1	9	5	
		H23.8.1～H23.8.4	4	1	10	0	
		H23.8.8～H23.8.10	3	1	10	0	
		H23.8.22～H23.8.23	2	1	10	0	
		H23.9.12～H23.9.14	3	1	10	0	
		H23.9.28～H23.9.29	2	1	9	0	
		H23.10.3～H23.10.5	3	1	10	0	
		H23.10.11～H23.10.13	3	1	10	0	
		H23.10.17～H23.10.19	3	1	10	0	
		H23.10.26～H23.10.27	2	1	10	0	

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
		H23.11.8～H23.11.9	2	1	10	0	
		H24.2.13～H24.2.14	2	2	9	0	
		H24.2.20～H24.2.21	2	1	9	0	
		小計	38	16	135	5	
水産まつり体験乗船 定期検査のための回航	第1区	H23.10.9～H23.10.9	1	1	9	0	
		H23.12.13～H23.12.14	2	0	10	0	
		H24.1.31～H24.2.1	2	0	9	0	
		小計	5	1	28	0	
合計			100	34	326	6	

2.6 用船の状況調べ

(平成24年5月31日現在)

事業名	船名	調査内容	出航先	借上げ 日数	金額(円)			備考
					計	使用料	その他	
水産情報発信事業	北栄丸 (酒津)	沿岸潮流観測ブイ の標識灯の補修作 業	酒津沖	1	10,000	(10,000)		3.4t
水産情報発信事業	第3御来屋丸 (御来屋)	沿岸潮流観測ブイ の標識灯の補修作 業	御来屋	1	10,000	(10,000)		4.9t
合計					10,000			

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし

